

あかとう堂々

発行/飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : shinko@town.iizuna.nagano.jp

赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局<<赤東コミュニティ消防センター2F>>

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : shurakushien@gmail.com

地域全体の良さを共有することが大事

― 赤東の未来を考えるシンポジウムより ―

十二月十三日、「赤東の未来を考えるシンポジウム」が三水第二小学校ランチルームにて開催されました。パネリストに中島恵理長野県副知事、竹内延彦長野県次世代サポート課企画幹、荒井孝幸赤東区長、馬島敦子赤東未来創造プロジェクト委員長、峯村勝盛飯綱町長を迎え、コーディネーターは小澤勇人飯綱町参与が務め、区内外から七十名近い方々が参加。赤東区の今後の課題や可能性について、それぞれの経験を踏まえた貴重な意見を聞く事ができました。

中島副知事は、自らも田舎暮らしの移住者であることから、子供たちにとって都会生活は過酷であるとし「保育、教育には自然が欠かせない。便利であることより、不便さが生活力を高める。何もないことが実は必要で、そのメリットを再評価すること」と話され、その良さをどう発信していくか、又は維持、発展していくか、地域全体でそれを考え共有していく事が大事なのではないかと語られました。

竹内企画幹もまた、自然の中で育てたいという人口が増えてきていることから「子育ての環境で人が動く」と話され、二十先、三十年先について子供たちを巻き込んで一緒に考えていくことを提言。さらに、小学校閉校については、街ひとつがなくなるくらい重要な課題として、中島副知事同様に「跡地活用については、目先の成果を求めない・急がない・住民参加で」取り組むことが重要と語られました。

パネルディスカッションの後の意見交換では、たくさんの方の意見が聞かれました。「声の出しにくい人の所へ行き声を聞く」「子供たちが早く外へ出たがるのは、地域を知らなさすぎるから。ふるさとを知る教育は、学校と地域が一丸となって取り組む」「未来に何が欲しいではなく、何を残したいか」などなど。

話しが尽きず予定の時間をオーバーするほど充実したシンポジウムでした。今後もうした機会を設けていく予定です。是非、赤東区の未来について様々な意見を聞きながら一緒に考えていきましょう。

イノシシ汁で おもてなし

この日、赤東未来創造プロジェクトでは、有害鳥獣指定のイノシシを猟友会から提供していただき、イノシシ汁のふるまいをしました。

コトコトとじつくり煮込まれた肉は、七種の野菜と相まって絶品の味をもし出しました。やや小雨交じりの空模様でしたが、食される方皆さん笑顔で、普段食べることのない肉だけに大好評でした。

誕生したばかりの『みつとん』も一役買ってくれて、さらにのふとまりましたネ。



貴重な命を いただきます

あかとうこんじゃくものがたり
赤東今昔物語 ⑥

参考資料：「赤塩学校百年誌」「三水村の歩み」

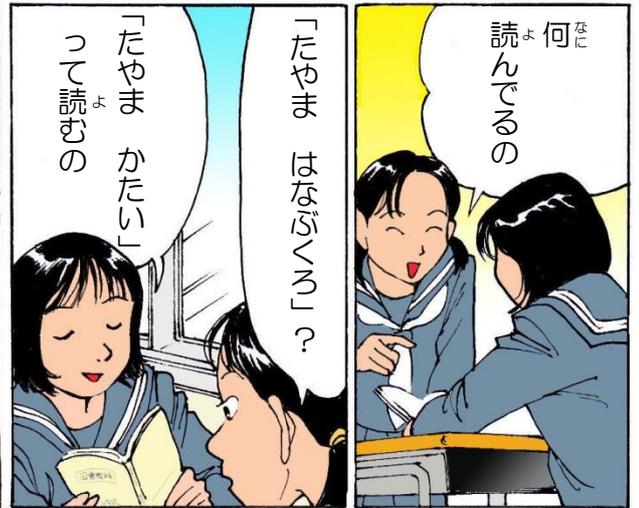


『重右衛門の最後』を
 読んでないか

『田舎教師』や
 『蒲団』には
 それらしい風景が
 出てきてませんよね



重右……
 衛門……
 の最後…?



何
 読んでるの

「たやま はなぶくろ」?

「たやま かわいい」
 って読むの

「……進めば進むほど行けば行くだけ、
 自然の大景は丁度良きその絵巻物を
 広げるが如く、自分の眼前に現れて
 来るので、自分は益々興を感じて
 成程これでは友が誇ったのも
 無理でないとかから思った……」
 と、牟礼駅から赤塩へ向かう風景を
 「重右衛門の最後」の作品の中で
 こう表現しています。



お、シブイな
 田山花袋を
 読んでるか

先生
 知って
 るんだ

「はなぶくろ」

か・た・い



明治 37 年頃の毛野集落(泉ヶ丘)



自然主義文学の第一人者だ
 赤塩を舞台にした作品がある
 と知って
 先生もいくつか作品を
 読んだよ

へー そうなんだー

ですけど……

聞かせて あなたの声を!

十月に実施されました赤東区住民アンケート。その中の自由記載の項目では、様々なご意見が集約されました。どの意見も赤東区への強い想いがあればこそその視点で、真摯に伝わるものがありました。そうした意見を、個々にではなく、共有し合うことができれば、さらに活性化に拍車がかかると思うのです。

そこで、改めて赤東の未来についてのご意見を聞かせてください。原稿を募集いたします。もしくは、伺いに行くかもしれません。その時はご協力お願いします。あなたの声を聞かせて下さい。問い合わせ：集落支援員 小林

携帯：080-17733-5627

《あかとうの日》 新年会!

今回で第三回目を迎える「あかとうの日」は、一月十日の日曜日です。年が明け、気持ちも新たに赤東区の未来について大いに語り合います。う! 時間は午後六時三十分から。お一人一品です。

大勢のご参加をお待ちしております。



あきがき

赤東未来創造プロジェクトでは、只今インターネットを活用した取り組みを始めます。フェイスブックをご利用の方は、是非アクセスしてみてください。